

Yumeken

夢けんせつ
DREAM CONSTRUCTORS

秋

2009 Vol.599

◆特集○話題の焦点

長持ち、省エネ住宅のすすめ

◆夢インタビュー

滋賀の地に豊かな能楽文化が花開く未来を夢みて

◆第15回夢けんせつフォトコンテスト

受賞作品紹介

◆おじゃまします

阪本建設株式会社



長持ち、省エネ住宅の すすめ

今、減税や購入補助金の対象となるエコカーが大きな話題になっています。住宅についても環境に配慮した「長期優良住宅」や「エコリフォーム」などに対する、住宅ローン減税などの優遇措置がスタートしています。これからの時代に求められる光熱費を抑えるリフォームのアイデアや、長く安全・快適に暮らせる家づくりについてレポートしました。



国や自治体の補助制度を活用して賢くリフォーム

2007年の「バリアフリー改修促進税制」に続き、昨年「省エネ改修促進税制」が創設され、省エネリフォームにローン減税が適用されるようになりました。

減税の対象となるエコリフォームには、a居室の窓を断熱性能の高いものに取り替える、b aと併せて行う床、天井、壁の断熱工事、c、aかbと併せて行う太陽光発電設置工事があります。

リフォームを数多く手がけている長浜市の(株)材信工務店によると、減税の対象になるようなリフォーム事例はまだ少ないものの、国や自治体の補助金などをうまく活用して、エコリフォームを行うケースが増えているそうです。

エコリフォームには、省エネ型住宅設備機器の導入と、窓、壁、床、屋根などの断熱工事や間仕切りの変更といった建物の改修工事があります。

省エネ設備機器には、割安な深夜電力を利用する「自然冷媒ヒートポンプ給湯機」(エコキュート)や太陽光発電機、深夜電力を利用した蓄熱暖房機などがあり、中でもエコキュートを設置してオール電化住宅にするリフォームが増えているそうです。

オール電化住宅になると、電気代が通常より安くなるプランを利用することで、月々の光熱費が場合によっては3割程度削減できるほか、国からの導入補助金41,000円が利用できます(平成21年度エコキュート導入補助金制度)。

比較的手軽な設備機器の導入に比べて、建物を改修するところでも大掛かりな工事になりますが、断熱性能を高めることでさらに光熱費を抑えることができます。「例えばエコキュートを導入して、浴室を気密性の高いシステムバス



ギャラリー・観光案内所として活用されている 酬徳記念図書館

明るく広々とした廊下

教室と廊下の間に設けられた突出し窓

玄関横に建つ古川鉄治郎氏の肖像

湖国 街かど ウォッチング

新しく便利になった街や施設をレポートするコーナーです。

豊郷小学校旧校舎群



ウサギとカメのブロンズ像

ウサギが昼寝をしている間に階段を登るカメ

豊郷町出身で、丸紅商店(現・丸紅)専務の古川鉄治郎氏が、私財の3分の2に当たる60万円(現在の価値で数十億円)を寄贈して、昭和12年に完成した旧豊郷小学校。

ウィリアム・メレル・ウオーリスの設計で、施工は竹中工務店。当時としてはめずらしい鉄筋コンクリート造で、本館の

ほかに講堂、図書館、体育館、プール、町民のための図書館(酬徳記念図書館)などが建設されました。温水暖房設備や内線電話が採用され、トイレも水洗式でした。

当時としては最先端をいく施設で、「白亜の教育殿堂」「東洋一の小学校」と讃えられ、長く豊郷町民が誇りとしてきたこともうなずかれます。

木製の階段の手すりにはインソップ寓話の「ウサギとカメ」をモチーフにしたブロンズ像が配され、階段を登ると物語が展開していくようになっています。

コンクリート造ですが、校舎の内部は、ナラ材のフローリングの廊下、窓を大きく取った明るい教室、木枠スリガラスの突出し窓など、子どもたちがのびのびと学べるようにとの願いが込められた、ぬくもりにあふれた建物です。

平成11年に老朽化による校舎移転、建て替え問題が起こりましたが、住民の反対運動によって保存が決まりました。その後、まちづくり交付金を活用して、耐震工事と大規模な改修工事が行われました。外壁の分析・調査を行って、建設当時の白亜の教育殿堂と言われた外観が蘇ったほか、できる限り当時のままの姿を保存するよう改修が行われました。



「白亜の教育殿堂」と称された豊郷小学校旧校舎本館

平成21年5月からは町立図書館、子育て支援センターのほか、8月から観光案内所が入居する複合施設として活用されています。だれでも自由に見学でき、最近では、人気アニメ「けいおん」の舞台である高校のモデルになったといふことで、全国からアニメファンが訪れています。

場所 ● 犬上郡豊郷町石畑5-18

CONTENTS

湖国街かどウォッチング……………	2
豊郷小学校旧校舎群……………	2
特集・話題の焦点……………	3
長持ち、省エネ住宅のすすめ ……………	3
夢インタビュー……………	6
滋賀の地に豊かな能楽文化が花開く未来を夢みて 伊庭貞一さん……………	6
ビジネス最前線……………	7
エコワックス……………	7
第15回夢けんせつフォトコンテスト……………	8
受賞作品紹介 ……………	8
おじゃまします……………	14
阪本建設株式会社 ……………	14
近江建築探訪……………	16
四居家住宅 ……………	16
「仕事の達人・遊びの達人」……………	17
モンキードッグとして活躍する愛犬 吉澤高明……………	17
バスルとクイズ……………	17
近江うまいもの紀行……………	18
湖国の祭りあれこれ……………	18
読者の声……………	19
表紙写真……………	19
「舗装工事の人びと」 阪野 吉平……………	19
「錦秋の針畑川大橋」 山田 祐市……………	19

長期間優良住宅普及促進事業は、過去3年間の平均新築供給戸数が54戸/年以下の木造住宅(在来工法・ツーバイフォー工法など)を手がける中小住宅生産者が、長期優良住宅を建設すると最大100万円の補助金が支給される制度です。

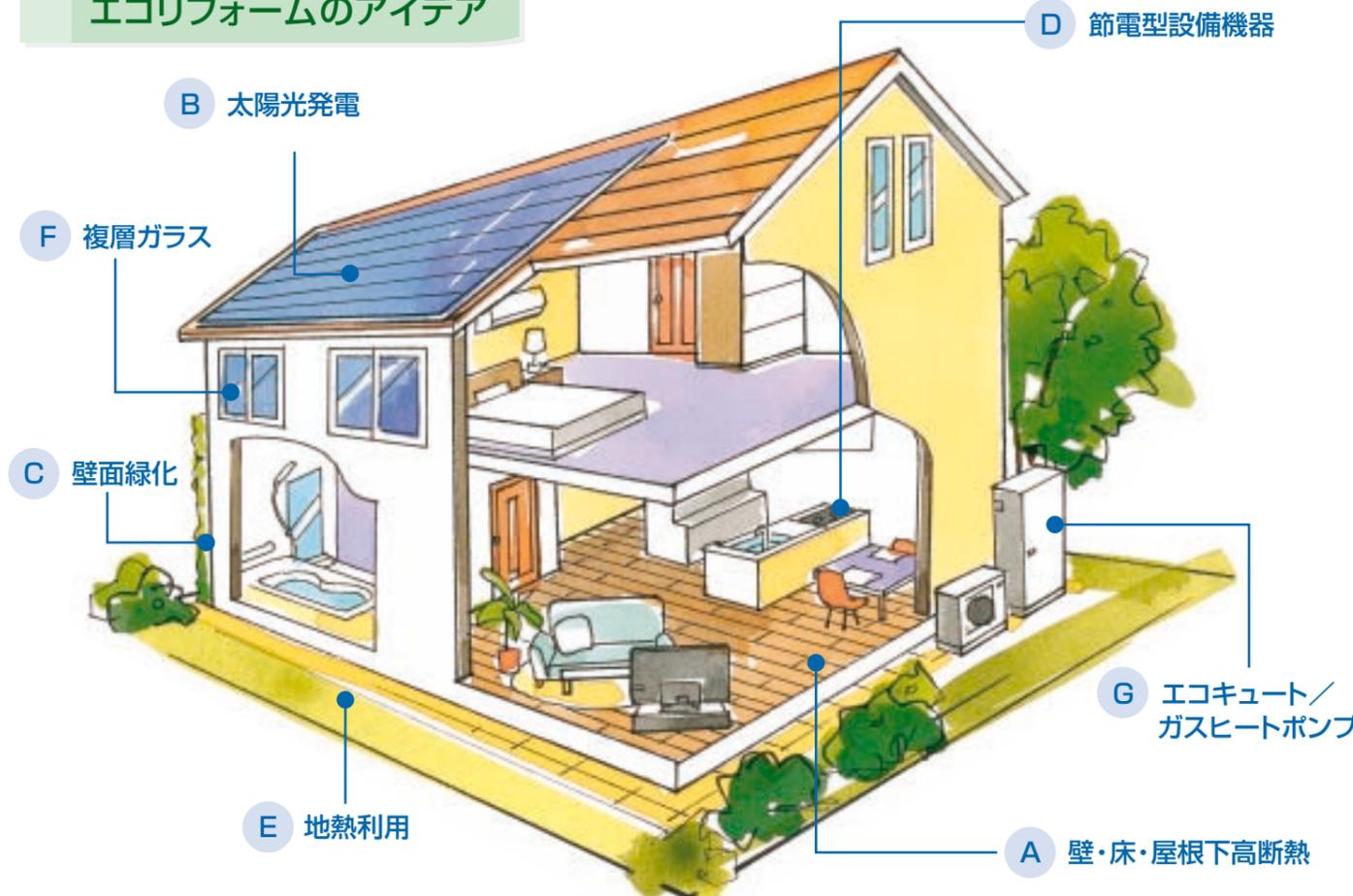
申請には、補助金交付申請書と、確認申請書、建築確認証、長期優良住宅建築等計画の認定申請書、同認定通知書、工事請負契約書(写)、建築主との補助金合意書などが必要で、また施工中に見学会を実施するなど公開、履歴整備が求められます。

同社が手がけるSE構法(木骨フレーム構造)の住宅は、すべての住宅で構造計算を行うなど、もともと長期優良住宅の認定を受けるための要件がそろっていることもあって、申請のために新たに仕様をグレードアップする必要はなかったものの、基礎を壊すことなく容易に配水管の交換ができる鞘管工法が新たに採用されました。

維持保全計画では、10年後、20年後、30年後にどんな補修やメンテナンスが必要か、またそれにどれくらい費用がかかるかを示してお施主さんの理解を求めますが、「長期優良住宅を希望される方は総じて、長く大事に住みたい」という意識が高い」と、同社コーディネーターの大橋雅子さん。

最高100万円の補助金は、長期優良住宅の普及促進への効果に期待できるとしながらも、「今年の6月にスタートして12月11日までに補助金交付申請を行わなければならないため、膨大な書類の準備などを考えると棟数に限りがあった」と、同社設計部の池本宏文さんは指摘します。

エコリフォームのアイデア



れるかどっかは未定ですが、ようやく消費者側の関心も高まってきて、厳しい経済情勢の中でも、優良な住宅を手がける中小工務店にとって、こういった制度が追い風になることが期待されるだけに、継続してバックアップするような施策が望まれます。

とはいえ、すでに大量消費から限りある資源を大切に使う社会への転換が必至となっています。これからは、長持ちして、省エネ効果の高い住宅を建て、適切なメンテナンスを行いながら、長く大切に暮らすことが当たり前になっていくはずです。

長期優良住宅の認定要件



にリフォームするとさらに省エネ効果が高まります」と、同社リファイン長浜の宇野徹店長。

太陽光発電については「インシアルコストが高いことから、まだ導入例は少ないものの、余剰電力を電力会社に売った場合の買取価格が引き上げられたこともあって、確実に関心が高まっていると指摘します。

太陽光発電については、国の補助金以外に独自に導入補助制度を設けている自治体も多く、複数の助成制度を利用することもできます。

平成21年6月に施行された「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」は、「良い家を建てて、きちんと手入れして、長く大切に使う」とを目的としています。その背景には、日本の住宅の平均耐用年数が30年と、欧米の住宅に比べてはるかに短命なことがあり、つくっては壊すフロー消費型から、ストック型社会への転換を図り、廃棄物の削減や環境負荷の低減の実現をめざしています。

地熱利用など 新たな技術によるエコ住宅も

リフォームや省エネ機器の購入に対する助成制度を設けている自治体も多く、例えば長浜市では、リフォーム費用の10%(上限5万円)を商品券で交付するという緊急経済対策が今年度は実施されています。リフォームの際には、「どんな補助金が利用できるか工務店で相談してほしい」と宇野店長。

同社が最近力を入れて取り組んでいるのが、地熱を利用した省エネ住宅で、このシステムを採用した新築住宅をすでに建築しています。

年間の温度差の少ない地下4〜5メートルの地中熱を、パイプで住居内に取り入れて利用する計画換気システムで、冷暖房にかかるコストを軽減するというもので、新しい自然エネルギーの利用法として注目されています。今後は増設などでも提案していきたいと、同社の伊藤正基社長。

減税や補助金の対象にならなくても、快適な居住空間が実現するうえ、将来に渡って光熱費が抑えられるなら、そのメリットは大きいと言えます。新築でも、リフォームでも、より環境に配慮した住まいづくりをめざしていくことが、つくり手にも住む人にも求められています。

大量生産大量消費から ストック型社会への 転換をめざす

長期優良住宅として認定を受けるためには、構造躯体の劣化対策や耐震性、維持管理・更新の容易性、可変性、バリアフリー性、省エネルギーといった性能を備えていること、また、良好な景観の形成に配慮した居住環境や一定の住戸面積を有する住宅であること、一定の維持保全計画の策定など、国土交通省が定めた基準をクリアしていることが求められます。

基準を満たすような質の高い住宅を建てるためには、どうしても建築コストが高くなるため、普及を促すために税制上の優遇措置が設けられています。2010年3月末までに新築された住宅については、長期優良住宅と認定された場合、控除対象借入限度額や控除率が拡充されるほか、不動産取得税の控除額が増額されたり、固定資産税の減税措置の適用期間が延長されたりといった税の特例が受けられます。三建だけでなく、マンションも対象となります。

計画書に基づいた適正な補修で 住宅のロングライフ化を図る

大津市にある大輪建設(株)では、長期優良住宅普及促進事業にエントリーして、今回3棟

エコワークス 県産材を使った木製サッシの開発



伊香郡余呉町下余呉1873-3
0749-86-2302

農業と建築を志す若者たちが
建てたどっほ村の拠点施設



A 湖北町にある清水さんの作業場
B 建築中の住宅。ここにも木製サッシが用いられる。

「サッシを単体で販売するつもりはなくて、あくまで自分が建てる家とセットでサッシづくりを考えているが、より多くの工務店に採用してもらえればメーカーもメリットを享受することができる」と清水さん。

もう一つ、山の木を将来的に活かす仕組みを作りたいという想いが込められています。県内には戦後間もなく植林されて、伐採の時期

「サッシを開発するにあたっては、自然素材の住宅にふさわしい、国産材の木製サッシがないかと探し続けてきたという清水さん。木製サッシのほとんどが米マツなどの外材を使っていることや、また規模の小さいメーカーが多いため、どうしても割高になってしまいうこともあって、なんとか地域材を使って製品を作る仕組みづくりができないかと、5、6年前から試行錯誤を繰り返してきました。

昨年からは、県産材の利用振興を目的とする補助金制度を活用して、滋賀県産のスキ材を使ったサッシの製作を新潟県のメーカーに依頼、このサッシを採用した住宅を木之本町に建築しました。

清水さんが木製サッシにこだわる理由には他にもいろいろあります。アルミに比べると木製サッシは熱伝導率が低いので結露を抑えることができるのもその一つ。

建具職人のほとんどが60歳を越えて、次の世代に技術を伝える機会がほとんどなくなっています。安定した性能とコストで製品を供給できる仕組みを作れば、建具づくりの技術を継承していくことができます。

「サッシを単体で販売するつもりはなくて、あくまで自分が建てる家とセットでサッシづくりを考えているが、より多くの工務店に採用してもらえればメーカーもメリットを享受することができる」と清水さん。

「限界集落の問題がクローズアップされているが、若い人が都会に出て行くのは、田舎に仕事がないから。農業と建築の両方の技能を身に付けることで、田舎に住みたいという若者たちの暮らしが成り立つのではないか」という

を迎えた山がたくさんあります。サッシを量産するためには柱目のスキ材を十分に確保しておくことが必要になります。伐採した木の利用法を準備しておくことが、将来に渡って山を守ることに繋がると指摘します。

清水さんは昨年、湖北町上山田で、木材利用を軸に建築と農業を学びながら、山で暮らせる人材の育成をめざす「どっほ村プロジェクト」を立ち上げました。

「限界集落の問題がクローズアップされているが、若い人が都会に出て行くのは、田舎に仕事がないから。農業と建築の両方の技能を身に付けることで、田舎に住みたいという若者たちの暮らしが成り立つのではないか」という

技術の継承、林業活性化などさまざまな波及効果に期待

土壁や国産材といった自然素材を使った家づくりを手がけるエコワークス代表の清水陽介さんは、現在、地域材による住宅用木製サッシの開発に取り組んでいます。

自然素材の住宅にふさわしい、国産材の木製サッシがないかと探し続けてきたという清水さん。木製サッシのほとんどが米マツなどの外材を使っていることや、また規模の小さいメーカーが多いため、どうしても割高になってしまいうこともあって、なんとか地域材を使って製品を作る仕組みづくりができないかと、5、6年前から試行錯誤を繰り返してきました。

昨年からは、県産材の利用振興を目的とする補助金制度を活用して、滋賀県産のスキ材を使ったサッシの製作を新潟県のメーカーに依頼、このサッシを採用した住宅を木之本町に建築しました。

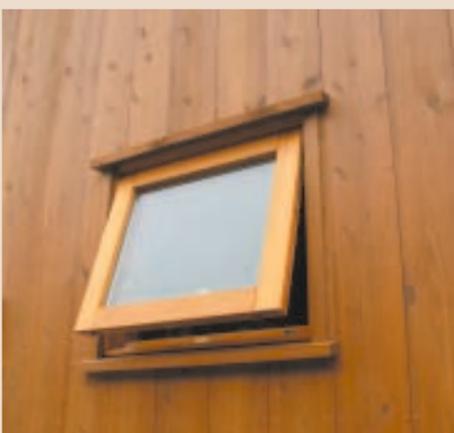
清水さんが木製サッシにこだわる理由には他にもいろいろあります。アルミに比べると木製サッシは熱伝導率が低いので結露を抑えることができるのもその一つ。

建具職人のほとんどが60歳を越えて、次の世代に技術を伝える機会がほとんどなくなっています。安定した性能とコストで製品を供給できる仕組みを作れば、建具づくりの技術を継承していくことができます。

「サッシを単体で販売するつもりはなくて、あくまで自分が建てる家とセットでサッシづくりを考えているが、より多くの工務店に採用してもらえればメーカーもメリットを享受することができる」と清水さん。

想いでプロジェクトをスタートしました。清水さんには、若い頃、自転車世界をまわり、滋賀に戻ってからは、自然農法による農業を志しましたが、食べていくことができなくて、木工教室の講師などを経て、建築の仕事始めたという経験があります。

食べるもの、住むところを自分の手で作れるというのは、もともと人間が持つていた生きる力を取り戻すことにもつながります。すでに4名の若者が塾生として技術を学んでいますが、独立独歩に由来する「どっほ村」から、自分で考え、自分の力で歩んでいく若者を一人でも多く描いています。



滋賀県産のスキ材を用いた木製サッシ

滋賀の地に豊かな能楽文化が 花開く未来を夢みて

鎌倉時代に起源を発する能の歴史は古く、観阿弥・世阿弥親子によって能が大成された室町時代には多くの優れた能面が制作されました。一見無表情に見えますが、演者によって命が吹き込まれると、さまざまに表情が変化して、豊かな感情を表現できるのが能面の魅力です。そんな奥深い能面づくりに魅せられた伊庭貞一さんに、お話をうかがいました。



小面



小面

●以前はサラリーマンをされていたそうですが、能面打ちを始められたきっかけを教えてください。

電機関係の技術者としてメーカーに勤務していましたが、45歳頃からこの仕事はほんとうに自分がやりたかった仕事なのかと考えるようになりました。小さい頃から木工が好きで、何かが木工に関連する仕事ができないかという思いが強くなって、48歳の時に思い切って退職しました。

●それで能面づくりを目指すことになったのですか？

初めは仏像を彫りたいと思ったのですが、まずは能面で顔の表情の作り方を勉強しようと思いい、野洲にあった能面教室に入りました。少しでも良い作品を作りたいという思いで、京都や福井県などに能面の名品を見に行くうちに、その奥深さに魅せられてしまいました。その後、日本中で通用するような能面を打ちたいと思い、京都の能面師・中村光江先生の指導を受けるようになった。

●能面打ちの技術はどのように学ばれていくのですか。初めて習う人にはかなり難しいのではありませんか。

古い名作や師匠の作品を紙の型に写し、忠実に模倣することから始めます。お手本がいろいろありますので、初めての人でも比較的作りやすいと思います。

●能面打ちの魅力はどんなところにありますか。

四角い木片から、まるで生きてるような表情豊かな面が創り出せるところがです。優れた面は、喜怒哀楽さまざまな感情を一つの面で表現することができます。それほど繊細なものですから、同じ手本で何度目面を打っても、これはという作品はなかなかできませんが、それゆえに次はもっと良いものにし

たいという意欲が尽きません。

●能楽文化の普及にも取り組んでおられるそうですね。

能楽発祥の地・奈良に近い滋賀には、かつて能楽が盛んな時代があり、竹生島や三井寺は有名な能の演目の舞台となったのですが、今は随分と変わってしまいました。ここ数年、趣味として能面打ちを始められる人が増えて、教室もいくつかできていますが、私が習い始めた頃は、県内で能面打ちを教えるのは野洲の教室一カ所しかありませんでした。

●能楽の魅力が伝わるために、能登川で謡をたしなんでおられる方と出会ったことがきっかけとなって、5年前に「滋賀能楽文化を育てる会」を立ち上げました。

●どんな活動をされていますか。

年に一度「能楽能面の集い」を開催するほか、県内の公民館などで「能面打ち体験教室」を開催しています。能楽や能面に接して、能に興味を持つてくれる人を増やしていきたいと考えています。例えば小学校で能について話をさせていたかどうか、ライブワークとして、少しずつ種まきをしていきたいと思います。能楽の盛んな京都にも引けを取らないくらいに、滋賀の地で再び豊かな能楽文化を花開かせたいと思っています。

●最後に、今後の活動予定や、これからの目標をお聞かせください。

この秋には、耕の作家さんと企画展を開く予定です。県内で、さまざまなものづくりをしている方とのネットワークを広げていきたい、新しいことにチャレンジしたいと考えています。目標とするのはやはり、能楽師の方に舞台で使ってもらえるような素晴らしい面を打ちたいと思っています。



伊庭さんの道具箱



能面以外に木工作品も手がける



伊庭 貞一さん

能面講師 〇いば ていいち

1951年大津市生まれ。能面打ちを始めて4年目に福井県の「能楽の里・能面公募展」に入賞。2004年に伊庭能面教室を開講。2005年には「能面の祭典能面公募展」で「国民文化祭実行委員会会長賞」を受賞。能面以外の木彫作品でも「木彫フォークアート・おや」などで入選。2008年に能楽会を発足、能楽文化の普及啓発活動にも積極的に取り組んでいる。

【連絡先】
(TEL) 0748-42-1116
(E-mail) iba-teichi18@e-omi.ne.jp
(サイト) <http://www.biwa.ne.jp/~iba-tmh/>



四角い木片からお手本の型に合わせて能面を打っていく

建設業労働災害防止協会 滋賀県支部長賞
「しっかり受け取ってくれ」古垣 純三「神奈川県」



社団法人滋賀県土木施工管理技士会会長賞
「海中溶接」大勢登 雅史「神奈川県」



優秀賞

PHOTO 第15回 CONTEST 入賞作品

●審査員/滋賀県写真連盟 ●会長:川崎 透 並びに主催者

第一部
「建設業にはたらく人々」
第二部
「滋賀の建造・構造物(橋・ダム・道路・トンネル)」

- 主催/ (社)滋賀県建設業協会、(株)滋賀産業新聞社
- 後援/ 滋賀県、滋賀労働局、(独)雇用・能力開発機構滋賀センター、西日本建設業保証(株)滋賀支店、(社)滋賀県建設業団体連合会、滋賀県建設業協同組合、(社)滋賀県土木施工管理技士会、建設業労働災害防止協会滋賀県支部、(独)勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部、びわ湖放送(株)
- 協賛/ 滋賀県写真連盟、滋賀県カメラ材料商組合、エスアンドエフ(株)

	応募者数	応募点数	第一部	第二部
総数	199人	304点	138点	166点
内訳	県内	114人	47点	134点
	県外	85人	91点	32点

入賞作品展のお知らせ

入場無料

- 10月17日(土)・18日(日)
おうみものづくりフェア(技能フェア2009)
(滋賀県立高等技術専門校米原校舎[テクノカレッジ近江])
- 10月20日(火)~25日(日)
滋賀県立水環境科学館(草津市矢橋町字帰帆2108)
- 11月20日(金)
滋賀県建設雇用改善推進大会
大津プリンスホテル 淡海ロビー(大津市におの浜4-1-1)
- 平成22年1月24日(日)
滋賀県立水環境科学館(草津市矢橋町字帰帆2108)

審査後記

滋賀県写真連盟会長 川崎 透

第15回の「夢けんせつフォトコンテスト」応募要領のポイントが新しく設定されて、出品者も少し戸惑われた感があったものの、前年より新しい構図の作品が多かった様に感じました。次回の審査が楽しみにあります。

第一部「建設業にはたらく人々」(デジカメ・カメラ可)



独立行政法人 雇用・能力開発機構滋賀センター統括所長賞
「後進指導」平谷 泰治 [和歌山県]



独立行政法人勤労者退職金共済機構建退共滋賀県支部長賞
「合掌造り」福田 尚人 [滋賀県]

「舗装工事の人びと」

阪野 吉平 [山形県]

滋賀県知事賞
社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞

グランプリ



評

働く人の現場とローラーを動かす人、交通整理をする人等構図の取り方が非常に良い。道路工事の雰囲気良く捉えられている。

入選

「ドリル音がこだまする」
小林 三郎 [滋賀県]



「橋梁の建設」伊藤 武 [長野県]



「池のしゅんせつ作業」
藤波 喜競 [埼玉県]

特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「二滴たりとも」大野 政順 [滋賀県]

第二部「滋賀の建造・構造物(橋・ダム・道路・トンネル)」

(カメラ・デジカメ可)

「錦秋の針畑川大橋」

山田 祐市 [滋賀県] <撮影場所/大津市>

滋賀県知事賞
社団法人滋賀県建設業協会会長賞
滋賀県写真連盟会長賞

グランプリ



新しく完成した観を良い角度で捉えており、アクセントの紅葉をのぞかせた点が良かった。構図として下の川の流れも場面を引き立てている。



「もう一塗り(もうひとめぐり)」
荒尾 智雄 [滋賀県]



「僕らは道路のお医者さん」
兼光 喜一郎 [滋賀県]



「橋桁補修工事」
関矢 俊夫 [群馬県]

「夢の球場建設」
仲程 梨枝子 [沖縄県]



「地域の安全を守るのは我ら」
本山 尚志 [群馬県]



「建設を目指す解体」
今玉利 修司 [東京都]



「ダム工事」
竹村 悦子 [高知県]

優秀賞



西日本建設業保証株式会社滋賀支店長賞
「ロマンのある橋」家根 昌二 [滋賀県]
<撮影場所/高島市乙女ヶ池>



株式会社滋賀産業新聞社長賞
「初夏の堰堤」井上 先夫 [滋賀県]
<撮影場所/野洲市>

「長浜駅前通り電線電話線等
地中ケーブル化工事」
佐野 昌一 [滋賀県]



「橋の取壊し」北澤 誠 [滋賀県]

「煙雨のダム工事」
大岡 三夫 [滋賀県]



「崖工事」
鈴木 順喜 [愛知県]

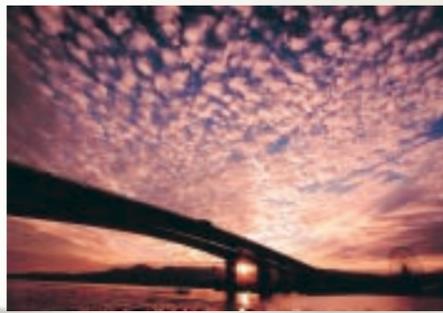


「護岸補強工事の人」
長縄 博 [愛知県]

奨励賞



「花いっぱい」の風車村」
西山 順三 [滋賀県]
〈撮影場所／高島市風車村〉



「明日も渡る橋」杉立 好正 [滋賀県]
〈撮影場所／琵琶湖大橋〉



「水郷をたずねて」
三枝 武夫 [京都府] 〈撮影場所／近江八幡〉



滋賀県建設業協同組合理事長賞
「緑の農道」木下 博貴 [愛知県]
〈撮影場所／大津市伊香立〉



社団法人滋賀県建設産業団体連合会長賞
「砂原大橋夜景」矢野 暢英 [滋賀県]
〈撮影場所／草津市砂原町〉



「春らんまん」
下山 博 [滋賀県] 〈撮影場所／彦根市〉

北川 孝 [滋賀県] 〈撮影場所／湖南市地内〉



「天空の林道」西浦 正洋 [大阪府]
〈撮影場所／朽木村小入谷峠〉

入選



「波模様」
前河 栄次 [滋賀県]
〈撮影場所／米原市世継〉

特別賞



BBCびわ湖放送株式会社賞
「新緑の並木道」岡本 聖 [京都府]
〈撮影場所／高島市マキノ町〉

奨励賞



「早朝の野洲川堰」谷崎 進 [滋賀県]
〈撮影場所／守山市野洲川〉



「調和(ちょうわ)」
寺尾 幹男 [滋賀県] 〈撮影場所／大津市上田上〉

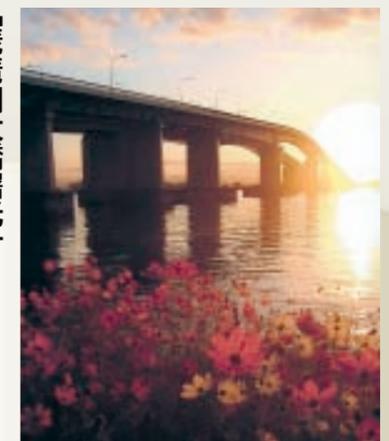


「赤い橋」田中 利生 [滋賀県]
〈撮影場所／甲賀市土山町〉



「花園の道」
大西 宏徳 [愛知県]
〈撮影場所／高島市箱館山ゆり園〉

「琵琶湖大橋曙光」
藤田 俊則 [滋賀県]
〈撮影場所／大津市真野 琵琶湖大橋西詰〉



「春」富本 武旦 [滋賀県]
〈撮影場所／日野町〉



「ふれあい橋」
小野 智子 [奈良県] 〈撮影場所／甲賀市信楽町〉



「青土ダム」
瀬戸口 初男 [滋賀県] 〈撮影場所／甲賀市土山町〉

質の高いものづくりをキッカに 地域の信頼に応える

阪本建設株式会社

伊香郡木之本町広瀬

代表取締役社長

阪本路弘



本社社屋



ISOの認定書



建設工事コンクール 優良を受賞

挨拶や清掃を徹底して 現場周辺の住民に配慮

20歳の時から父親が創業した会社で働き、事業を引き継いだ阪本路弘社長。「ずっと仕事が切れないのは、ほんとうにありがたい」と阪本社長が言うように、公共工事が減少する中で、同社では元請けとして順調に受注を続けてきました。

仕事の大半は地元伊香郡。地域密着型の企業として、工事中は周辺住民に配慮し、阪本社長自ら率先して、あいさつや掃除などを心がけています。「その場で働く側も気持ちよく仕事ができる。毎日、顔を合わせた住民と親しくなって、自家製のふな寿司をいただいたこともある」と阪本社長。

「地元から評価してもらえない仕事をしよう」ということをモットーにしてきた同社では、平成4年に、高時川の河川改修工事で「建設工事コンクール」の優良を受賞、また平成9年には「うるおいのある道づくり工事」で、木之本駅前の整備工事が知事賞を受賞したことで、社員の士気が高まりました。

社員のほとんどが先代からいっしょに仕事をしてきて、気心が知れていること、別の建設会社を経営する弟さんと、助け合いながら仕事をしてきたことも同社の強みになっています。

「社員だけの忘年会の代わりに、家族にオードブルなどをプレゼントしたこともあった。亡くなった母がよく、社員の家族のことやちゃんと考えておくようにと言っていた」と言う阪本社長。社員数7名という規模もあって、家族的な経営を大切にしています。



さらに、平成15年には、伊香支部の5社が集まって、建設業協会の指導を受けながらISO9001を認証取得しました。改めて品質方針に掲げるまでもなく、経営者としてめざすものは、賞をいただけるようなクオリティの高い仕事をする事、結果的に地域の人々に喜んでいただけるような企業になることであると指摘します。

家族的な経営で 社内の結束を固める

同社では、昨年からは道路や河川の新設や改修工事のほか、単価契約事業による県道の維持補修工事を請け負っています。

壊れたガードレールや崩れた路肩の補修から、倒れた樹木、交通事故の後の道路上に残った燃料の除去など、多種多様なトラブルに臨機応変の対応が求められる仕事です。土木事務所による道路パトロールなどでトラブル箇所が発見されて通報を受けると、速やかに対処して、安全で円滑な通行を維持しています。

経営基盤を固めて 事業の継続発展を目指す

伊香支部の副支部長を務めたこともある阪本社長。「建設業のいい時期を知っているの、今の業界の厳しい状況に危機感を感じている」と語ります。

5年前から社員として阪本社長とともに働いている長男について、「息子はこの世界に入った時から厳しい環境が普通だと思っている。その中でよくがんばってくれている」と思いつつ評価します。

ずっといっしょにやっていた社員や、跡を継いでくれる息子さんのためにも、将来を見据えて経営基盤を盤石にしておきたいと言いつつ阪本社長。そのためには地域がよくなるといってほしいという、事業を大切にして、地元との信頼関係を大切にしなが、事業を継続発展させていきたいということばでインタビューを終えました。



阪本社長



現場の美化に使うプランターカバー



「うるおいのある道づくり工事」知事賞を受賞



四居家住宅

●長浜市元浜町

「卯建(うだつ)」が上がる
長浜最古の町家

観光シーズンににぎわう黒壁のまち長浜。通りに沿って町家が軒を連ね、どこか懐かしさを感じさせる街並みが人気を集めています。

なかでも、両壁にひととき高く二つの「卯建」が上がり、堂々とした趣を見せているのが四居家住宅。部材の古さや構造形式から、建てられたのは江戸中期の十八世紀初め前と推定されており、築年数は実に三〇〇年余り。長浜の有力商家がこぞ代々油問屋を営み、文化九年(一八二二年)と明治五年(一八七二年)に起きた二度の大火も免れてきました。



屋根の両側には防火・装飾用の「卯建」が上がっている。



四居家住宅



築300年以上と伝わる四居家住宅。2009年3月に復原を終え、観光拠点として活用されている。



←柱と屋根の構造が見られるよう吹き抜けにした通り土間。

復原前、寄贈された当時の外観。外観・内装ともに大きく手が入れられていた。→

近隣の古い町家を参考にして復原された「バッテリー床几」と「藪戸」。



【湖北観光情報センター 四居家】
JR長浜駅下車、徒歩約7分
長浜市元浜町14-12 TEL.0749-65-0370

町家の発展過程を知るうえで貴重な建築遺産といえます。
秀吉の城下町として、また北国街道の宿場町、湖畔の港町として栄えてきた長浜。家から家へ軒を連続させた平入り屋根の家々はまを整然と美しく見せ、この界隈が都市としての役割を長く担ってきたことをいまに伝えています。そしてその町家の原形を伝える四居家は、もっとも雄弁な歴史の語り部なのです。

町家としては長浜でもっとも古いのはもちろん、近畿でも最古級といわれています。
平成二年(二〇〇〇年)に故四居家氏より長浜市が寄贈を受けて以降、観光案内所として活用されてきましたが、老朽化・耐震の対策をふまえて修復工事に着手。建築当初に近いかたちへの復原にも取り組み、研究者の監修を受けて近隣地域の町家を参考にしながら往時の面影を取り戻しました。
建物は今年四月に「湖北観光情報センター」にてリニューアルオープンし、広く一般に公開されているほか、広い通り土間はギャラリースペースとしても利用されています。

町家の発展過程を伝える貴重な建築遺産

四居家は間口五間半、奥行七間の平入り平屋建て。比較的規模が大

きく、長浜で五軒しかない卯建の上がつた家であることから家格が高いことがうかがえます。一九世紀に一度大きく改築されており、その間の間取りは元治元年(一八六四年)「南伊部町切絵図」にも描かれています。正面のバッテリー床几(じょうぎ)や藪戸(しとみど)は長浜町家の古式の店構えであり、跳ね上げ大戸とともに細密に復原されました。
構造上の大きな特徴は、柱をすべて「通し柱」としている点。これは京都の町家と同じ形式です。中世末から近世初頭にかけて、各地の城下町で建てられた都市型住宅の多くはこと同じく京町家をモデルにしたと考えられています。四居家の場合、屋根を支える「母屋」は一間おきにまばらに渡されており、妻側の柱列も一間おきに立つ太い柱が細い間柱を交互に挟んでいます。これは軽い板葺き屋根を支えるための構造で、現存する京町家よりもさらに古い形式。

仕事の達人、遊びの達人 私のオフタイム

モンキードッグとして活躍する愛犬「仁」

吉澤建設 吉澤高明



モンキードッグとして活躍するミニチュアダックスの仁

夫婦そろって犬好きで、現在5頭になりましたが、一時は大型犬のピレネやレトリバーから、小型犬まで7頭の犬を飼っていました。
去年、東近江市のほうから、犬を飼っている家庭にモンキードッグへの協力依頼がありました。この辺りは山が近く、サルやシカ、イノシシによる作物への被害が後を絶ちません。
シカやイノシシは電気柵で畑への侵入を防ぐことができますが、サルは木の枝を伝って柵を越えて畑に入り込んだり、民家のすぐ近くへも平気でやって来て、畑や果樹を荒らすので難儀していました。
ちやうど、自治会の役員をしていたこともあり、家族の一員として大事に育ててきた犬が地元の役に立つならと、名乗りを上げました。7頭の中から、モンキードッグに一番ふさわしいと選ばれたのが、ミニチュアダックスの「仁」です。
モンキードッグには適正があって、大人しい性格でもだめですし、猫犬も向きません。サルを追いかけて山深く入り込んで、戻ってこなくなるということ。仁は、現在3歳のオスで、気が強く、サルを見てもひるまず追いかけて行くような勇敢なところがありません。
栗東にある訓練所に入所して3カ月間訓練を受けました。サルが出たという連絡を受けると、仁を放します。吠えながら追いかけて山の中に追い込みますが、呼ぶとすぐに戻ってくるよう訓練されています。
どの犬も家で必要な躰をしていますが、専門的な訓練を受けた仁は飲み込みも良くて、これまで何度かサルを追い払ってくれました。うまく訓練すると、かなり効果があることから、モンキードッグの取り組みは全国各地に広がっています。
実はこの犬は捨て犬で、拾得物として届けられたのを、わが家で引き取ったという経緯があります。それが、このように地域の役に立ってくれていると思うと、少し誇らしい気持ちになります。
私たち夫婦だけでなく、子どもも孫も犬が大好きです。犬との暮らしはほんとうに心を豊かにしてくれると思います。



小型犬のピレ



ピレネのリュ



レトリバーのリュ



□の中に入る文字を考えてください。6つの漢字を組み合わせて「仁」をヒント●話題の焦点

不 品
妻 賢 母

越 感
柔 不 断

家 配 便
搜 索

永 権
民 登 録

時
繁 忙 尚 早

一 戦
延 一 短

前号の答え

「け」

パズル&クイズ当選者

- 野瀬 浩一さん
- 加藤 敬一さん
- 土川由次良さん
- 多田 英子さん
- 斉城 順子さん
- 小林 浩基さん
- 岩倉喜代子さん
- 西野生依子さん
- 大伴 和子さん
- 松木つや子さん

応募方法

- P&Q及びアンケート(返信用添付ハガキ)の両方にお答えいただいた方の中から抽選により粗品を進呈します。ふるってご応募ください。
- 別のハガキにてご応募の方も住所、勤務先(学校名)、氏名及びP&Qの答え、アンケート、メッセージ等を書いて送付してください。
- 締め切り 平成22年1月20日必着
- あて先 〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18 (社)滋賀県建設業協会 広報委員会

V O I C E 読者の声

花しょうぶ通りは時間がゆったり流れているようで、大好きな所です。(辻 清美さん)

大津に転居して3年、いろいろな祭りに行きました。中でも日野祭りがすばらしかったです。(鍋島道雄さん)

エレベーターやエスカレーターはとても便利な無人機です。さらに便利で安全なものにしてほしいと思います。(北川恒雄さん)

近江八幡にヴァイオリンを製作している方がおられると知りびっくりしました。私もアンティークが好きで、普段クラシック音楽を聴いていて、ヴァイオリンの音色が一番好きです。細野さんの工房に行ってみたいなあと思いました。(松木つや子さん)

「泥亀汁」とはおもしろい名前の名物があるものです。あまり食欲をそそる名ではありませんが、記事を読んで一度食べてみたいと思いました。(岩倉喜代子さん)

仕事にも遊びにも全力の同世代の記事「私のオフタイム」を読み、ますますパワーをもらいました。(小林浩基さん)

いざという時に県警本部が機能しているのは心強いことだと思います。(斉城順子さん)

近江建築探訪は、近江兄弟社出身の私にとってとても興味深い内容でした。古い建築物にこそ学ぶべきことがあると思います。(多田英子さん)

先日、水口曳山祭を見て、迫力のある荘厳な神事に驚きました。(加藤敬一さん)



根首部分の鮮やかな赤紫色が特徴の鎌掛日野菜



秋に旬を迎える日野菜は10月下旬から12月にかけて収穫され、最も味がよく色も美しいとされています。日野菜漬けの中には、葉を付けたそのままの形で漬けた「日野菜多び漬」や、「甘酢漬け」「ぬか漬け」などがあり、いずれも見た目に美しく、しゃきしゃきとした食感やほのかな苦味のあるカラの風味が身の上です。作り方はそれぞれの家ごとに少しずつ異なり、家庭の味が代々受け継がれています。日野町商工会では「日野菜漬け」の作り方を紹介しています。



日野菜漬け入りのポテトサラダはさんだ「ひのなチーズ焼き」と「ひのなチーズサンド」も話題になっています。

新たに開発されたドレッシングとマリネ



「日野菜漬け」

日野町発祥の日野菜はカブラの一種で、その細く長い形状と、鮮やかな赤紫色に発色した根首部分と白い下部とがはっきり分かれた容姿に特徴があります。室町時代の領主 蒲生貞秀が日野の鎌掛で自生していた日野菜を発見して、漬け物にしたことが日野菜漬けの起源とされ、京都の公家に献上したところ、きれいなサクラ色をした日野菜漬けが、都でも評判になったと伝えられています。

野菜プロジェクトを立ち上げて、日野菜・日野菜漬けの普及に努めるだけでなく、「日野菜ドレッシング」といった新商品開発や、日野菜を使ったレシピづくりにも取り組んでいます。また、地元日野町の「富士家製パン」が販売する、日野菜漬けを用いたパン「ひのなチーズ焼き」と「ひのなチーズサンド」も話題になっています。



問い合わせ 日野町商工会 TEL:0748-52-0515 hino-net@rnc.ne.jp

季刊夢けんせつ秋号

◆

2009年(平成21年)10月10日

通巻第599号

発行 社団法人滋賀県建設業協会

〒520-0801 大津市におの浜一丁目1-18

TEL.077-522-3232(代)

FAX.077-522-7743

http://www.yumeken.or.jp

企画編集 広報委員会

協力・印刷 宮川印刷株式会社

After Word

今年の5月に丹後半島の伊根を訪れた時に、舟屋の見える漁港でのんびりと釣りをする人達の姿を見たのがきっかけで、以来、釣りを始めるようになりました。釣りといっても本格的なものではなく、漁港や波止の堤防ですのんびりとした釣りです。丁度時期を合わせ、景気対策の一環として、高速道路料金の休日上限1,000円等の割引制度が開始されたこともあって、最近ではあちこちの漁港へ釣りに出かけ、心地良いのんびりとした時間を過ごすアウトドアを楽しんでいます。

それはさておき、8月の衆議院議員選挙において政権交代が起こり、今度は高速道路の「無料化」が公約の中にあります。無料になるのは利用者にとって大変良いことですが、渋滞や、必要となる財源等様々な問題が出てくる恐れがあり、不安な面もあります。今のところ割引の効果で、各地では観光活性化の効果が現れているものの、既に土・日の交通量は1.5倍となり、各地で交通渋滞が発生し、他の交通機関等への経営面にも影響がでています。また、CO2排出量の増加という問題も無視できないと思います。

我々の暮らしと経済を支える道路や関連施設の整備は、まだまだ十分とはいえず、そのための財源は絶対に必要であり、この「無料化」で地域が元気になり、本当に喜ぶとは思えないのですが… 皆さんはどのようにお考えでしょうか?

炊飯器が壊れた。最初は土鍋で炊いたりしたが、結構面倒なので近くの家電量販店に買いに行きました。多種多様な山ほどの炊飯器の多さ。それに10万もする物もあってビックリ…炊飯器ってこんなに高いの?!?炊飯器をなめたかも…。

まず、某メーカー「超音波艶炊き、スペシャルエクセレントタイプ」。店員さんの説明によると、「IH(電磁加熱)で生じる磁力線を超音波発生リングで部分的に遮断することで内釜に1秒間あたり約88,000回もの超音波振動を発生。超音波で米粒を微振動させて、お米の表面の固いうまみ成分を溶かしていきます。超音波がお米の主成分であるでんぷん内の消化酵素(アミラーゼ)の働きを活性化。でんぷんをどんどん分解してブドウ糖量アップ……」わ・か・ら・ん???というか「スペシャルエクセレント」で何?

次、「可変圧力沸騰!おどり炊き」。パンフレットを見ると…「世界初!圧力の力を驚異的な熱対流に変える、可変圧力沸騰!1.2気圧の加圧と1気圧への減圧をくり返し、内釜内を大沸騰状態に…」わからん???沸騰と大沸騰の違いって何?お米が踊る???

…他にもいろいろ説明を受けましたが「何故にご飯がおいしく炊けるのか?」については、どれもよく判りませんでした。でも日本の最新技術ってすごい。機能についても、おかゆはもちろん、ケーキ・パンまでつくれるものまでであるという。でも使わなければ意味がありませんからね。

結局、悩みすぎて買わずに帰ってきて未だ「土鍋炊き」それでもご飯は美味しく、幸せです。

M.N

M

湖国の祭りあれこれ

「西市辺裸まつり」 東近江市



1月成人の日の前日 法徳寺

若宮神社の氏子が無病息災・五穀豊穡を祈願する、西市辺の「裸まつり」は、鎌倉時代から受け継がれてきた伝統行事です。神仏習合の名残を伝える貴重な習俗で、滋賀県と東近江市の無形民俗文化財に指定されています。

当日は午前10時から天台僧による護摩供養が行われ、夕刻になると精進潔斎した独身男性が法徳寺薬師堂に集まります。

独特の節回しの謡(うたい)で、酒式(しゅうし)と呼ばれる古式に則った宴を繰り広げたあと、太鼓の合図で一斉に着物を脱ぎ捨て、「チヨウチャイ、チヨウチャイ」のかけ声とともに、高さ3メートルの梁に飾られたマユ玉を奪い合います。マユ玉を手にした者は、その年、良縁に恵まると伝えられるだけあって、参加者は真剣そのもの、堂内は熱気に包まれます。

若宮神社の氏子が無病息災・五穀豊穡を祈願する、西市辺の「裸まつり」は、鎌倉時代から受け継がれてきた伝統行事です。神仏習合の名残を伝える貴重な習俗で、滋賀県と東近江市の無形民俗文化財に指定されています。

当日は午前10時から天台僧による護摩供養が行われ、夕刻になると精進潔斎した独身男性が法徳寺薬師堂に集まります。

独特の節回しの謡(うたい)で、酒式(しゅうし)と呼ばれる古式に則った宴を繰り広げたあと、太鼓の合図で一斉に着物を脱ぎ捨て、「チヨウチャイ、チヨウチャイ」のかけ声とともに、高さ3メートルの梁に飾られたマユ玉を奪い合います。マユ玉を手にした者は、その年、良縁に恵まると伝えられるだけあって、参加者は真剣そのもの、堂内は熱気に包まれます。

法徳寺へのアクセス●近江鉄道八日市線日辺駅から徒歩10分 問い合わせ●東近江市観光協会 0748-24-5662

社団法人 滋賀県建設業協会
www.yumeken.or.jp

